

F2-17

劇場の規模や運営・管理とバリアフリーの関係性についての研究

Research on the relationship between theater scale, operation and management, and barrier-free access

○大塚晴希¹, 田中賢²*Haruki Otsuka¹, Yasushi Tanaka²

I studied barrier-free measures in theaters and halls. A questionnaire survey and a website survey were conducted. Information on when barrier-free support is not possible is not posted on the website. Improvements to the venue environment are underway. Some theaters are making progress in accommodating children and collaborating with local communities.

1. はじめに

1-1. 障がい者の芸術鑑賞について

障がい者が劇場・ホール・音楽堂等(以下、劇場とする)での芸術鑑賞をしたいと思っても、情報収集、チケット予約・購入、公演当日の行き帰りの道のりや劇場内の設備等にあるバリアから行動が円滑に進まないため、芸術鑑賞を諦めてしまう可能性があるのではないかと。

1-2. (公社)全国公立文化施設協会の「劇場・音楽堂等バリアフリー化推進プロジェクト」^[1]について

本研究は「劇場・音楽堂等バリアフリー化推進プロジェクト」を参考にしている。劇場・音楽堂等の設置者、運営者等に対し、バリアフリー化のための情報提供・指導・助言を行う総合窓口を開設し、普及・啓発と支援を進めるプロジェクトである。ここで尾上浩二氏(DPI 日本会議副議長)は障がい者が公演を楽しむまでを時系列に3段階(公演の情報取得、チケット予約・購入、公演当日)に分けてチャートで留意点を述べている。

2. 研究の目的

それぞれの劇場のバリアフリーの現状について調査し、課題を明らかにすることで、今後の芸術鑑賞を多様な人々が楽しめるよう考える。

3. 調査概要

3-1. 調査方法

本研究は、各劇場(HP)からバリアフリーの状況や座席数等の基本情報を収集した後、各劇場(貸館営業を主とする劇場では劇場所有者)へ郵送法によるアンケート調査を行い、課題点を明らかとする。都内169カ所^[2]の劇場にアンケートを郵送し、内45カ所から回答を得た(回収率27%)。

3-2. 各劇場へのアンケート調査項目

前述の尾上氏が作成したチャートを元に調査項目を設定した。

更に子どもへの対応や地域との連携に関する質問項目を付加することで、より多様な人々を利用対象として捉え、それぞれの地域ならではのバリアフリー対応について調査を行った。

4. 調査結果と考察

回答のあった45劇場をバリアフリー法の移動等円滑化誘導基準に基づいて総客席数~200, 201~2,000, 2,000~に分類し^[3]、アンケート結果と、そのHPからの情報を合わせて表1から表3に示した。更に訪問調査で得た情報を加味して結果の考察を時系列で述べる。

4-1. 公演情報の取得について(表1)

会場までのアクセスについては、総客席数が~200では86%、総客席数が201~2,000では86%で掲載されており、総客席数を問わず情報取得が可能である。

掲載方法は、Google Map等の地図サービスを掲載する、最寄り駅からの地図を掲載する、写真付きで経路を説明する等、様々である。貸館営業を行う劇場の訪問調査では、劇場のHPに案内図を掲載することで主催者側が公演の告知をする際に同じ地図を使用でき来場者への案内が統一される、という意見や、劇団がSNSでアクセスを説明する場合もあるが、劇場がHPに掲載した方が来場者にとってわかりやすいと考え丁寧な案内を掲載しているという意見が挙げられた。

貸館営業を行う劇場では、施設側と主催者側の情報共有や連携が利便性に影響を与えられられる。

4-2. チケット予約・購入について(表2)

主催者により対応が異なると回答した劇場が18%となった。フリーアンサーでは、HPの充実と並行してオペレーターの質を向上させ柔軟に個別対応することも重要との指摘があった。

設備やシステムの充実だけでなく、スタッフ個々の知識や対応力がバリアフリーの質に関わっており、知識・対応を学ぶ機会が必要である。

4-3. 公演当日の対応について(表3)

1: 日大理工・学部・まち 2: 日大理工・教員・まち

貸館営業の劇場は、来場者と対面したり座席の形態を決定するのは主催者側であるため、劇場として一定のバリアフリー対応を行うことが難しい。マニュアル化された対応ではなく当日いる演者やスタッフが臨機応変に対応する。空間も多様な使われ方をするため特定の場所にバリアフリー設備を常設することは難しい。

一方、総客席数が2000程度の劇場では、スロープの増設やエレベーターの新設等、多様な人がより快適に施設を利用できる設備の導入が行われている。

総客席数が少ない劇場か障がい者が施設を利用する機会がなく、バリアフリーが必要になった前例がないことが、対応に差が生じる要因の1つであると考え。劇場の規模や運営形態、それに伴う予算の状況がバリアフリーの検討・導入に大きな影響を及ぼしている。

4-4. 受入れ態勢について (表4)

周辺店舗、最寄り駅、障がい者団体との連携は総客席数が201~2,000の劇場のみで、それぞれ14%、4.8%、67%である。視覚障がい者が働く施設と隣接し連携している劇場では、施設の従業員から実際に挙げ

られた意見を反映させることでバリアフリーの質を向上させている。

地域との連携は多様な人が劇場という空間を楽しむきっかけ作りとなり、障がい者団体をはじめ地元の自治体や施設と連携することで、的確に必要な対応策を施設側が把握できる地域に開かれた劇場になる。多様な人々がまちを訪れ芸術を楽しみ帰宅するまでを一連の流れで考える「まちぐるみ」の対応が必要である。

5. まとめ

劇場の規模や運営・管理形態、それらに伴う予算の都合がバリアフリーに影響を及ぼしている。多様な制限があるなかで、各劇場でできることを最大限に行おうという意識は非常に重要である。

劇場間のバリアフリーに対する認識や対応の差を小さくするために、劇場間の情報交換が必要である。規模や演目を問わず設備を完備することは難しくとも、どのような規模・演目の劇場がどのような対応を行っているのかを各劇場が知ることで求められるバリアフリーの充実度を把握することができ、多様な人々が芸術鑑賞を楽しめる劇場が実現すると考える。

表1 公演の情報取得(抜粋)

	公演の情報取得																								チケット予約・購入						
	BF情報 専用ページ		会場について																		料金の情報 について				予約について						
			バリアフリー情報						プログラムへのアクセシビリティ情報						ネット予約																
			会場までのアクセス			会場内のアクセス			多目的トイレの情報			BF座席の情報			字幕情報		音声ガイド		機器の貸出し						あり	なし	公演による	無回答			
あり	なし	あり	なし	公演による	あり	なし	公演による	あり	なし	公演による	あり	なし	公演による	あり	なし	公演による	あり	なし	公演による	あり	なし	公演による	無回答								
~200席 (N=22)	1	21	19	2	1	1	20	1	2	19	1	4	17	1	0	21	1	0	21	1	1	20	1	8	7	6	1	11	4	5	2
	4.5%	95%	86%	9.1%	4.5%	4.5%	91%	4.5%	9.1%	86%	4.5%	18%	77%	4.5%	0.0%	95%	4.5%	0.0%	95%	4.5%	4.5%	91%	4.5%	36%	32%	27%	4.5%	50%	18%	23%	9.1%
201~2000席 (N=21)	5	16	18	2	1	10	10	1	7	13	1	13	7	1	2	18	1	3	17	1	6	14	1	11	6	3	1	11	6	3	1
	24%	76%	86%	9.5%	4.8%	48%	48%	4.8%	33%	62%	4.8%	62%	33%	4.8%	9.5%	86%	4.8%	14%	81%	4.8%	29%	67%	4.8%	52%	29%	14%	4.8%	52%	29%	14%	4.8%

表2 チケットの予約・購入(抜粋)

	チケット予約・購入																															
	予約について																				購入について											
	予約システム										バリアフリー座席										障がい者割引											
	電話予約				メール予約				FAX予約				窓口予約				車いす利用者				聴覚障がい者				静かな観劇困難者				あり	なし	公演による	無回答
あり	なし	公演による	無回答	あり	なし	公演による	無回答	あり	なし	公演による	無回答	あり	なし	公演による	無回答	あり	なし	公演による	無回答	あり	なし	公演による	無回答	あり	なし	公演による	無回答	あり	なし	公演による	無回答	
~200席 (N=22)	12	3	5	2	9	6	5	2	4	11	5	2	9	6	5	2	5	13	2	2	0	19	1	2	0	19	1	2	1	9	10	2
	55%	14%	23%	9.1%	41%	27%	23%	9.1%	18%	50%	23%	9.1%	41%	27%	23%	9.1%	23%	59%	9.1%	9.1%	0.0%	86%	4.5%	9.1%	0.0%	86%	4.5%	9.1%	4.5%	41%	45%	9.1%
201~2000席 (N=21)	11	6	3	1	2	15	3	1	1	16	3	1	14	3	3	1	14	7	0	0	2	19	0	0	5	16	0	0	4	13	4	0
	52%	29%	14%	4.8%	9.5%	71%	14%	4.8%	4.8%	76%	14%	4.8%	67%	14%	14%	4.8%	67%	33%	0.0%	0.0%	9.5%	90%	0.0%	0.0%	24%	76%	0.0%	0.0%	19%	62%	19%	0.0%

表3 公演当日の対応について(抜粋)

	公演当日																																
	入場まで				入口から										座席への着席						終了後												
	車いす専用 駐車場		補助犬の同伴		スタッフ対応					多機能トイレ					車いすのまま観劇			座席に移乗後 車いす預かり			タクシーの手配												
	あり	なし	無回答	あり	なし	公演による	前例 無し	あり	なし	公演による	前例 無し	あり	なし	公演による	前例 無し	あり	なし	無回答	あり	なし	無回答	あり	なし	公演による	前例 無し	あり	なし	公演による	前例 無し				
~200席 (N=22)	3	18	1	7	5	4	6	10	4	6	2	10	3	7	2	7	14	1	6	15	1	18	2	1	1	14	4	2	2	12	6	3	1
	14%	82%	4.5%	32%	23%	18%	27%	45%	18%	27%	9.1%	45%	14%	32%	9%	32%	64%	4.5%	27%	68%	4.5%	82%	9.1%	4.5%	4.5%	64%	18%	9.1%	9.1%	55%	27%	14%	4.5%
201~2000席 (N=21)	7	13	1	17	1	2	1	20	0	1	0	19	1	1	0	10	11	0	12	8	1	21	0	0	0	21	0	0	0	18	1	2	0
	33%	62%	4.8%	81%	4.8%	9.5%	4.8%	95%	0.0%	4.8%	0.0%	90%	4.8%	4.8%	0.0%	48%	52%	0.0%	57%	38%	4.8%	##	0.0%	0.0%	0.0%	100%	0.0%	0.0%	0.0%	86%	4.8%	9.5%	0.0%

表4 受入れ態勢について(抜粋)

	受入れ態勢																			
	子ども対応									障がい者対応										
	子ども用クッション 貸出				子ども用 情報ページ				子どもの 大声対応				他団体との連携・情報交換							
	あり	なし	公演による	前例 無し	あり	なし	公演による	前例 無し	あり	なし	公演による	前例 無し	あり	なし	あり	なし	あり	なし		
~200席 (N=22)	1	20	1	0	0	21	1	0	1	20	1	0	1	21	0	22	0	22	5	13
	4.5%	91%	4.5%	0.0%	0.0%	95%	4.5%	0.0%	4.5%	91%	4.5%	0.0%	4.5%	95%	0.0%	100%	0.0%	100%	23%	59%
201~2000席 (N=21)	7	14	0	0	2	19	0	0	5	16	0	0	2	19	3	18	1	20	14	7
	33%	67%	0.0%	0.0%	9.5%	90%	0.0%	0.0%	24%	76%	0.0%	0.0%	9.5%	90%	14%	86%	4.8%	95%	67%	33%

参考文献

- [1] (公社)全国公立文化施設協会 HP (最終閲覧 2022年8月末)
- [2] TOKYO おでかけガイドより 24 劇場 (<https://park.tachikawaonline.jp/hall/>) (最終閲覧 2022年8月末)
NAVITIME「東京都の劇場」より 145 劇場 (<https://www.navitime.co.jp/category/0106003/13/>) (最終閲覧 2023年3月)
- [3] 国土交通省 HP「[劇場等の客席]の建築物特定施設への追加」(最終閲覧 2023年4月)